

〔問1〕

次の（1）から（10）の林学に関する語句群の中から5つ選び、その意味を簡潔に説明せよ。

- （1）標準伐期齡
- （2）坪刈り
- （3）法正林
- （4）林内路網密度
- （5）末口二乘法
- （6）計画勾配（計画堆砂勾配）
- （7）クビアカツヤカミキリ
- （8）東海自然歩道
- （9）外来生物法
- （10）SATOYAMA イニシアティブ

〔問2〕

次の（1）から（10）の問いに答えよ。

著作権保護のため、非公表（択一式 10問）  
3ページ以降に例題を掲載しています。

〔問3〕

次の（1）から（3）の問いの中から1つ選び答えよ。

（1）森林の有する多面的機能を将来にわたって持続的に発揮するためには、森林資源の適切な利用や、間伐、主伐後の再造林等の森林整備を着実に実施する必要がある。また、森林の「自然的条件」や「社会的条件」に応じて、「複層林化」、「長伐期化」、「針広混交林化」、「広葉樹林化」を推進するなど、多様で健全な森林への誘導も必要となっている。

これに関して、以下の①、②について合わせて **800 字程度** で説明せよ。

- ① 「自然的条件」、「社会的条件」をそれぞれ挙げた上で、「複層林化」、「長伐期化」、「針広混交林化」、「広葉樹林化」を推進すべきと考えられる森林とはどのような森林か説明せよ。
- ② 「複層林化」、「長伐期化」、「針広混交林化」、「広葉樹林化」の4つの中から 2つ選び、その施業の内容と施業により見込まれる効果を説明せよ。

（2）近年、地球温暖化への関心の高まりから、木材を使った建築の需要が拡大する中、新たな木質系材料として、CLT（直交集成板）が注目されている。

CLT（直交集成板）の製造と製品の特徴を述べた上で、建材としての利点と産業振興における利点について、**800字程度** で説明せよ。

（3）里山林では、人々が生活の中で日常的に森林の整備・管理を行うことにより、森林の有する多面的機能（生態系サービス）が持続的に発揮されてきた。しかし、近年、里山林に対する人の関わりの縮小に伴い、これらの機能が低下している。

これに関して、以下の①、②について合わせて **800 字程度** で説明せよ。

- ① 里山林が有する生態系サービスについて、具体的に説明せよ。
- ② 里山林がかかえる問題点を挙げた上で、問題点を解決する方策について、下の【語句群】の中から1つ使用し、説明せよ。

【語句群】 林業の6次産業化 ・ 農泊 ・ 森林サービス産業 ・ ワークেশョン ・ UJIターン ・ アドプトフォレスト



例題2 トランシット測量において生じる水平角観測の誤差に関する次の記述 a～d のうちには、望遠鏡の正位・反位の観測値の平均をとることによって消去することができるものが二つある。それらを選んでいるのはどれか。

- a. 視準軸が水平軸に直交していないことによって生じる誤差
- b. 平盤気泡管が鉛直軸に直交していないことによって生じる誤差
- c. 目盛盤の刻み間隔が均等でないことによって生じる誤差
- d. 水平軸が鉛直軸に直交していないことによって生じる誤差

- 1. a, b
- 2. a, c
- 3. a, d
- 4. b, c
- 5. c, d

【正答：3】